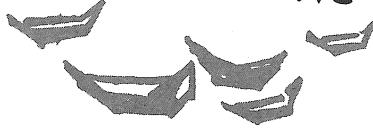


# ささぶね

第32号

## ～母校と共に歩む 同窓会～



### 竹早教員保育士養成所同窓会



#### 卒業後もつながり 合える同窓会に

会長 清水道代

平成29年度同窓会総会において下平喜代子会長がご勇退されることに伴い、平成30年度より会長を拝命致しました清水道代（昭和57年卒）でございます。会長就任にあたり、同窓会の基礎を築き支えてくださった歴代の会長はじめ役員、会員の皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。私と致しましては、これまでの歴史と伝統を大切に卒業生と母校にとって不可欠な存在であり続けられるよう、皆様と心を一つに微力ながら力を尽くして参る所存でございます。昨年度は、母校130周年、同窓会80周年の節目を迎えた。時代が大きく変わっていく中で、竹早教員保育士養成所は保育専門職の人材育成、保育者養成の伝統校として、益々存在意義を示していくことが期待されています。同窓会と致しましては、重層的なネットワークを活用し母校の発展と未来社会を担う子どもたちの為に一翼を担って参りたいと存じます。会員の皆様におかれましては、これまで以上に同窓会の活動に関心をもっていただき、新たな出発の同窓会に参画していただけますよう心よりお願い申し上げますと共に、会員の皆様方の一層のご指導とご鞭撻をお願い致します。

前下平喜代子会長ありがとうございました。

平成30年3月23日29年度理事総会において、第4代下平喜代子会長が勇退され、それに伴い、5代清水道代会長が就任いたしました。前下平会長におかれましては、在任中学生が同窓会研修会に参加会員と学生が学ぶという道を開かれました。

29年度は、同窓会創立80周年・母校創立130周年の式典・祝賀会を挙行。その他様々な記念事業を遂行されました。今後は顧問となります。

30年度から清水道代会長を迎え、81周年から始まる新たな展開を迎えます。歴史と伝統に立ち時代に即応した運営を皆様と絆を結びながら、事業の遂行に努められます。

#### 同窓会長交代

下平喜代子会長の勇退、後任として清水道代氏の就任が承認されました。歴史と伝統に立ち未来に向けて81周年を歩み始めました。



#### 感謝の心を込めて

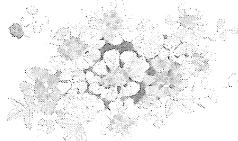
前会長 下平 喜代子

平成29年度の秋母校創立130周年・同窓会80周年記念式典が行われました。現在同窓会員は5000名余の会員と会報「ささぶね」を通して同窓生との絆を深めております。これまで支えてくださった、歴代会長 松石治様、布施マサ様、前田美知子様に改めて感謝申し上げます。

現在、会員の皆様とは「研修会」会報「ささぶね」母校「研究発表会」への協力などを通して、会員との絆を深めております。母校の協力援助をはじめ、ボランティアの方々の力を借りて進めてまいりました。常に感謝の気持ちでいっぱいでした。

このたび私は6年間お世話になりました会長を退任することになりました。多くの方に支えていただきありがとうございました。

後任には、清水道代様にバトンタッチをいたしました。これまで母校の教員として、多くの卒業生の指導に当たっておりました。これから会長として、ご活躍くださいますようお願いいたします。



## 根っ子

学校法人 竹早学園  
理事長 吉野 尚也



去る昨年の10月1日、学校法人竹早学園・竹早教員保育士養成所の創立130周年と共に同窓会創立80周年の式典及び祝賀会が本校第一校舎で開催されたことは慶賀の至りであります。

昭和5年に創立された同窓会は翌年休会されたものの昭和14年、本校を大正十四年に卒業され母校の保姆科主任となられた松石治先生が初代会長として全国在住の同窓会員に呼びかけ復活、会長職を39年間も勤められその基礎を築かれたとの事、次いで布施マサ二代会長、前田美知子三代会長、下平喜代子四代会長と常に献身的に母校の発展を支え続け、卒業生の絆を深くしてこられましたことに対し、深甚の謝意を表します。

一方、毎年の「研修会」や会報「ささぶね」の発行等々、各代の会長を補佐し続け、実質的な裏方に徹してこられた役員諸氏のご苦労には頭の下がる思いです。

同窓会とは、その人の“根っ子”であり、その根っ子が無い人は根無し草なのではないでしょうか。

清水道代五代目新会長と共にその畠を肥やす覚悟です。

### ～竹早の教務室から～

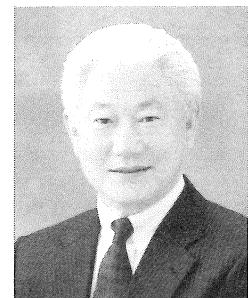
養成所教員 中村 香津美 (S55卒)

平成29年度は、竹早教員保育士養成所創立130周年・同窓会80周年の節目の年にあたり、記念式典・祝賀会、130周年記念保育研究発表会と思い出深い1年でした。この記念すべき年に母校である竹早で、教員として在職させていただいていることに感謝し、誇りに思います。保育研究発表会は、本校を会場として6年目になります。保育研委員の学生たちは、130年の伝統を引き継ぎ更にその先へといく思いから、記念の年にふさわしい保育研にしたいと準備を進めてきました。同窓会・後援会のお休み処「ささぶね」は、同窓生にとって、懐かしい友達、先生と再会できる場として定着しています。小さいお子さん連れの同窓生もいて、「お休み処」でお茶とお菓子を頂きながら、昔話に花が咲き連日賑わっていました。

平成30年3月19日、第130回の卒業生102名が夢の実現のため巣立っていきました。夢の実現から更に活躍の場として頑張って欲しいと願います。同窓生の皆様、ご縁がありましたら、温かい見守りやご指導、そして育てていただきますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

## 新たな歴史と 伝統を築こう

所長 齊藤 光一



この3月には102名の卒業生を送り出しました。これらの卒業生たちは、同窓会員としての新たな出発の時を迎えるました。先輩の同窓生の皆さん、新同窓会員へのご支援をよろしくお願ひいたします。

平成29年度は、本校にとっても同窓会の皆さんにとっても記念すべき年度となったと思います。

10月1日(日)に、本校創立130周年並びに同窓会創立80周年の記念式典、祝賀会を本校の校舎内で実施しました。この記念行事を準備し、実施するなかで、同窓会の皆様と本校教職員が心を一つにしてこれまでの歴史と伝統を振り返り、さらなる前進を決意することができました。これらの想いは記念誌にもしっかりと刻まれています。

また、12月に実施した第59回保育研究発表会も創立130周年の記念行事の一環として行い、同窓生と在校生の交流を深めることができました。

同窓会と学校が心を一つにして絆をより一層固め、平成30年度に向けて一歩を踏み出し、新たな歴史と伝統を築こうではありませんか。

今後とも、同窓会の皆様の温かいご支援、ご協力をよろしくおねがいいたします。

### 平成29年度のあゆみ

4.	新入学生に お祝いエプロン贈呈	10. 1	同窓会80周年・母校130周年 記念式典及び祝賀会挙行
5.	平成29年度入学式 参列 湯澤副会長挨拶	11.11	特別委員会「保育研究 発表会について」
6. ~7	第31号「ささぶね」等 発送作業 (80周年記念研修会・ お祝いの会案内同封)	12.22 23	保育研究発表会前日準備 保育研究発表会開催 1日目
	ボランティア延20名 協力完了	24	保育研究発表会 2日目
17	特別委員会兼80周年 特別委員会開催 「80周年記念 保育研修会について」	3.15 19	新幹事打合わせ会 平成29年度卒業式 下平会長出席
7.28	保育研修会前準備	23	平成29年度理事総会
30	80周年保育研修会及び お祝いの会開催		

## 【資料】

## 母校130年 同窓会80年の歩み

校名	母校の歴史	同窓会活動の推移	会長
保母伝習所時代↓	<p>明治21年 東京府教育会附属幼稚園保母講習所創立(後に保母伝習所)</p> <p>大正15年 東京女子師範学校内に移転、以降保母養成の先駆者に発展</p> <p>昭和24年 東京都教育会解散に伴い、師範同窓会が経営継承 保母養成60年間421名卒業生を送る。 *昭和20~23年第2次世界大戦終結後も、教育を再開する。 少数の入学希望者を受け入れ、授業と実習を継続し、新出発を目指す。</p>	<p>昭和5年 同窓会誕生 翌年から休会</p> <p>14年 復活 初代会長 松石 治(大正14年卒業)就任 夏季研修会開催 4日間「時局下の保育について」 独立校舎建設積立の呼びかけを行う</p> <p>昭和20年～23年 敗戦前後の混乱期に松石治が母校の重要所蔵を守り、松石会長は戦後の困難期も同窓会の保育相談に応じ続ける</p> <p>24年 校名改称に伴い竹早教員養成所同窓会と改称</p> <p>31年 独立校舎建設を要望し協力、図書寄贈の協力募金開始するも計画に終わる</p> <p>32年 新校舎建設 協力寄付 新校舎落成式に協力</p>	初代会長(昭和十四年～昭和五十三年)三十九年間
竹早教員養成所時代↓	<p>昭和24年 社団法人東京師範同窓会の経営に移り、竹早教員養成所と改称 初代所長 橋本健太郎就任</p> <p>28年 社団法人東京学芸大学同窓会経営</p> <p>32年 学校法人認可(学校法人竹早教員養成所の経営に移る) 幼稚園二級免許状授与指定(文部省) 独立校舎建設、落成 昼間・夜間の二部制、実質三部制の授業を実施</p> <p>36年 校歌制定</p> <p>38年 創立75周年記念祝賀会開催</p> <p>40年 学校法人竹早学園に組織変更許可 つつじがおか幼稚園設置認可</p> <p>46年 校地購入</p> <p>48年 夜間部廃止、(勤労夜学生の減少)</p> <p>52年 専修学校認可</p> <p>56年 第1校舎、新築落成 地上3階</p> <p>63年 創立100周年記念式典挙行 記念誌「竹早学園百年の歴史」刊行</p>	<p>38年 75周年祝賀会協力 会員名簿を初めて作成する</p> <p>44年 同窓会創立30周年記念祝賀会開催(三福会館) 会報「ささぶね」創刊 隔年発行 夏季講習会開催 毎年度実施</p> <p>46年 校地拡張協力募金</p> <p>54年 二代会長 布施マサ就任(昭和25年卒)</p> <p>57年 落成祝ピアノ7台寄贈(第1校舎落成式記念)</p> <p>63年 創立100周年グランドピアノ寄贈 母校100周年記念の集い開催(摩天楼)</p> <p>平成2年 母校の研究指導資料作成に参加 所長と懇談会を持ち協力方法を協議</p> <p>3年 每年7月総会 懇親会、研修会を併せて校内実施とする</p> <p>5年 校舎落成祝グランドピアノ寄贈</p> <p>6年 「私と竹早の歩んできた道」編集と刊行に全面協力</p> <p>7年 同窓会名簿(明治22年～平成7年までの卒業生全員を調査集大成刊行) (瀧口雅子S40卒、鈴木朋美H7卒、柳瀬愛H7卒)</p> <p>10年 第3校舎落成祝グランドピアノ寄贈 *11～12年布施会長老齢のため副会長・事務局長が会務代行</p> <p>14年 三代会長 前田美知子就任(昭和27年卒)</p> <p>16年 会報「ささぶね」18号から毎年発行とする グループ研究「母校と同窓会の歴史」を発足</p> <p>18年 維持会費設定 任意制とし毎年募集 会則改正</p> <p>19年 同窓会事務局 第2校舎内(学大資料室を貸与され新開設した)</p> <p>20年 母校創立120周年記念特集「ささぶね」発行 創立120周年記念懇親会開催(中村屋) 学生就職活動支援 コピー機寄贈</p> <p>24年 四代会長 下平喜代子就任(昭和27年卒) 母校と同窓会の協力連携を図り、研修会の充実を進める 同窓会会員・在校生が共に学び交流 保育研究発表会校内実施にあたり、協力、展示親睦を行う 26年 「同窓会活動の充実・今後の課題」について協議</p> <p>28年 研究会「母校と同窓会の歴史」講師前会長 母校創立130周年、同窓会80周年記念式典・祝賀会合同挙行</p> <p>30年 五代会長 清水道代就任(昭和57年卒)</p>	二代会長(昭和五十四年～平成十三年)二十六年間 (平成十四年～二十三年)十年間 (平成二十四年～二十九年)六年間 平成五代会長(昭和三十一年)
新しい時代への対応↓	<p>平成2年 向山和彌所長 就任 母校と同窓会の連携協力を要請</p> <p>5年 吉田桔美理事長 就任 第2校舎新築落成 地下1階、地上5階</p> <p>6年 「私と竹早の歩んできた道」松石先生の保育道刊行</p> <p>7年 「竹早教員保母養成所」と校名を改称 幼稚園教員・保母科を設置</p> <p>8年 幼稚園教員・保母科卒業生に専門士の称号付与を認定(文部省)</p> <p>10年 幼・保両資格取得校となる。 第3校舎新築落成 地下1階、地上4階</p> <p>11年 「竹早教員保育士養成所」と校名改称</p> <p>12年 男女共学開始(学生数の減少進む)</p>		
竹早教員保育士養成所時代↓	<p>16年 松澤 剛所長 就任</p> <p>20年 石川保徳理事長 就任 吉野尚也理事長 奥山英男所長 就任</p> <p>22年 斎藤光一所長 就任 指定保育士養成施設の学則変更(養成課程)承認(関東信越厚生局長) 教員養成機関として再指定(文部科学大臣)</p> <p>24年 応募入学生の増加 母校と同窓会の協力連携と校風の継承を提唱 保育研究発表会を校内で挙行</p> <p>26年 指定保育士養成施設の学則変更(養成課程)承認(関東信越厚生局長)</p> <p>27年 教育課程の変更承認(文部科学大臣)</p> <p>28年 入学式を校内で挙行</p> <p>29年 卒業式を校内で挙行 竹早教員保育士養成所130周年、同窓会80周年 記念式典合同挙式</p>	<p>18年 同窓会事務局 第2校舎内(学大資料室を貸与され新開設した)</p> <p>20年 母校創立120周年記念特集「ささぶね」発行 創立120周年記念懇親会開催(中村屋) 学生就職活動支援 コピー機寄贈</p> <p>24年 四代会長 下平喜代子就任(昭和27年卒) 母校と同窓会の協力連携を図り、研修会の充実を進める 同窓会会員・在校生が共に学び交流 保育研究発表会校内実施にあたり、協力、展示親睦を行う 26年 「同窓会活動の充実・今後の課題」について協議</p> <p>28年 研究会「母校と同窓会の歴史」講師前会長 母校創立130周年、同窓会80周年記念式典・祝賀会合同挙行</p> <p>30年 五代会長 清水道代就任(昭和57年卒)</p>	三代会長(昭和二十四年～二十三年)十年間 (平成二十四年～二十九年)六年間 平成五代会長(昭和三十一年)

## 【平成30年度 竹早教員保育士養成所同窓会・理事会組織】

役職	氏名	卒業年	役職	氏名	卒業年	役職	氏名	卒業年
会長	清水道代	S.57	理事	糸幸子	S.29	理事	梁本友華	H.25
副会長	福田多喜子	S.44	理事	田中靖子	S.33	理事	渡邊郁美	H.25
副会長	中村香津美	S.55	理事	釜井孝	S.39	理事	大廣千秋	H.26
副会長	今野君江	S.35	理事	塚越アサ子	S.40	理事	武井彩香	H.27
副会長	鳩山多加子	S.46	理事	湯澤都与子	S.41	理事	宮川来夢	H.30
会計	岡川洋子	S.36	理事	大野千恵子	S.43	理事	渡邊綾乃	H.30
会計	山口直美	S.55	理事	橋本明美	S.55	理事	酒井喜信	H.30
会計監査	小野寺萬亀子	S.38	理事	清水百合香	S.55	幹事	伊礼あきら	H.30
会計監査	高原泰子	S.46	理事	田中通子	H.8	幹事	橋本小春	H.30
理事	小川喜代子	H.8	理事	藤井大輔	H.24	幹事	安田萌衣	H.30
事務局	湯澤都与子	岡川洋子	今野君江					

## 事務局だより

平成30年度は会長交代・役員・理事の異動がありました。同窓会事業の充実発展にご尽力くださいました田中靖子、塚越アサ子は副会長を退任され、今後は理事としてご尽力くださることになりました。湯澤都与子副会長は退任。今後は理事として、事務局員として継続することになりました。上田恵子監査役は退任。後任には高原泰子が着任。なお、長い間役員、理事として支えてくださった方々ありがとうございました。今後もよろしくお願いいたします。

新副会長には中村香津美、今野君江、鳩山多加子が着任いたしました。

事務局員の糸幸子・釜井孝は辞任。今後は理事として、ご尽力いただくことになりました。

## 事務局の仕事

- ①会報「ささぶね」編集発行 ②保育研修会計画実施
- ③会員名簿の管理、整理 ④学校関連事業  
(同窓会紹介、新入生祝い品エプロン贈呈  
保育研究発表会への協力)など多岐にわたります。

## 会員の皆様へのお願い。

- 住所、氏名、その他変更事項がありましたら必ず事務局までお知らせください。
- 維持会費振込用紙に卒業年度をご記入ください。

## ささぶね 第32号

発行日 平成30年6月1日  
発行 竹早教員保育士養成所同窓会  
代表者 同窓会長 清水道代  
印刷 有限会社 三香堂印刷



平成29年度理事総会出席者

## 編集後記

歴史と伝統に支えられて、会報「ささぶね32号」も創立80周年の特集をカラーALバムで組み、母校と歩む同窓会をテーマに皆様と喜びをともにすることことができました。

お忙しい中、玉稿を吉野理事長様、齊藤所長様、会員皆様のお声を寄せていただきました。竹早での生活や思い出、友との交流など心温まる思いを寄せていただきました。今後も絆を結ぶ交流の場としていきたいと思います。ボランティアの方々の支援のおかげで発送の運びとなりました。ありがとうございました。

## 同窓会事務局

■開局曜日は火曜日から水曜日となりました。

《開局日 毎週水曜日 10:00～15:00》

〒112-0002 文京区小石川4-1-16  
TEL／FAX 03-3813-7188

■メールアドレスは次のようになりました。  
dousoukai@takehaya.ac.jp

# さふねひば

## おもいで・近況報告・喜び

### 竹早で出来た絆、恩師との再会

**奥田 綾子 H7.3卒**

早いもので卒業して23年がたちました。私は竹早時代に仲良くなった仲間と今でも毎年集まったり連絡を取りあったりしています。今ではお互に全く違う生活だったり住んでいる場所も様々ですが、こうして集まりが続いているのは、竹早で共に学び、いろいろな活動をして出来た絆だと思います。そして先日は、恩師の下平先生を囲んで食事会をすることが出来ました。23年ぶりとは思えないほど話に花が咲き、あっという間に1日がたってしまいました。

これも竹早での思い出が今でもたくさん心に残っていたからだと思います。これからもこの絆を大切にしていきたいと思っています。

遠藤、大久保、鎌田、高島、中山の友情に感謝です。

### 今思うこと

**細田 和子 (旧高橋) S44.3卒**

二人目の孫が誕生し明日で6週間を迎える。私の保育園勤務時代は産休制度のみで育休は定着していなかった。仕事を続ける為やっと目が見え始め母親を自覚するようになった小さな命を預け、よその子を保育する矛盾に葛藤し夢中で走ってきた。今更姑の子育ての苦労を感じながら31年間公立保育園デイサービスの勤務を経、現在も半分現役のような生活が続けられる毎日に感謝している。

世の中が変化し50年も前から呼ばれていた幼保一元化もままならず、幼稚園が2才児保育や長時間受け持つ保育園化がみられる。公立保育園設立の補助金が減り民間の小さな空店舗の保育室が認められる。園庭もないジプシーのような保育で良いのだろうか。問題の山積する認定こども園は実存しているが。

竹早の学生も保育園就職が多い今せめて質の高い保育者に育って社会に巣立って欲しいと願う。

### 竹早で学んだことを思い出して

**佐藤 理恵 H7.3卒**

私は夜間部へ行く前に幼稚園送迎のバスのバイトをし園児の元気パワーをもらって竹早へ通っていました。卒業後は幼稚園保育園と10年勤めました。折り紙100種類ノートや素話は大活躍しました。今は保育に関わる仕事ではないので、時々お散歩中の可愛い列を見るとつい笑顔で見守ってしまいます。我が子も小学校を卒業し少し自分の時間が作れるので最近気になっていた家庭的保育の保育室を見学してきました。4名と少ない保育室でしたが一人一人とゆっくり接し待つ保育が出来ると仰っていて、とても大切な事を思い出し、やはり子供と接する仕事は素敵だなあと改めて思いました。竹早に出会い保育のすばらしさを学び良い仲間に出会えて本当に感謝しています。

### 友からのうれしいたより

**釜井 孝 S39.3卒**

「お元気ですか？今年は熱海伊豆山温泉に宿をとりました」1年ぶりの旅行の知らせに心がはずみます。養成所時代から50年以上続いている仲間4人の会の今年の担当からの手紙です。あの頃は楽しかった！先生のお宅で人形劇の人形作り、休日に他校のスタジオを借りてリズム体操の練習、学芸大の学生達とスキー教室、ピアノの順番待ちの時皆でよく話したり笑ったり等々、仲間と会うといつでも養成所時代の映像が一つ一つ鮮明に蘇ってきます。なにしろ友達大好き、学校大好きでした。

昨年養成所130周年・同窓会80周年の式典に参加させて頂き素晴らしい竹早の卒業生で良かったと感じました。そして、式典で出会った同級生との再会、多くの友の消息など思い出がふえました。これから母校・同窓会の益々の発展を楽しみにしています。

## 懐しい思い出

**大場 敏子** (旧沼口) S39.3卒

竹早に学んでいた頃の私は、私立幼稚園で助手をしながら二部に通っていました。1年生のある日、校庭で体育をしていた学生が、室内にいた私達に大声を掛けてくれて、授業を担当していた先生は校庭をチラット見てから「皆、外に出て」と! 校庭に出ると二重の大きな虹の美しさにびっくりしました。その時の教師は松石先生「時に適った授業は幼児にも同じよ」と話して下さいました。平成12年3月末に公立幼稚園を退職し、その後、友人から教育相談をやるように勧められて、何回かの研修を受けて、相談員になりました。親御さんや子供に笑顔が多くなり、明るく変わっていく様子に喜びを感じることもできました。退会した今も懐かしい良い思い出です。

### 平成29年度卒業生 理事・幹事を迎えて

平成30年3月15日(木)事務局において29年度卒業生から理事3名幹事3名の方との打ち合わせと懇親会が開かれました。19日の卒業式を控え慌ただしい中で希望に満ち溢れたフレッシュな交流は楽しいひとときでした。4月から社会人として、旅立つ喜びと養成所での楽しかった生活など50字で綴っていただきました。4月から同窓生としてお仲間になります。



**宮川 来夢** H29.3卒

クラブ活動がとてもたのしくて毎週たのしみでした。毎週エンジョイできてよかったです。

**渡邊 綾乃** H29.3卒

4月からたくさん不安なことがあるけれどクラスの皆との日々を思い出して頑張ります。

**酒井 喜信** H29.3卒

竹早を卒業して4月から新社会人として仕事と生活を両立していくように頑張っていきたいです。

**伊礼あきら** H29.3卒

竹早に入って様々な大変な事がありましたけど本当に楽しい2年間でした。すてきな保育者になります。

**安田 萌衣** H29.3卒

4月から、待ちにまつた幼稚園の先生になるにあたって、とてもワクワクしています。楽しみです。

### ・保育研修会開催について

8月5日(日)に実施いたします。

皆様誘い合って、ご参加くださいますようお願いいたします。日常生活や、仕事・ボランティア活動にもお役に立てていただける機会にしていただければと思います。(詳細は同封のチラシをご覧ください)

### ・会報発送作業ボランティア

毎年5~6月に発送のお手伝いをお願いしています。是非、ご協力ををお願いいたします。

### ・維持会費のお願い

同窓会を維持発展させる大きな原動力です。29年度は会員の方々の温かいお心に支えられて、182名のご協力をいただきました。ご厚志に厚く感謝申し上げます。皆様の温かいご理解、お力添えをさらに、よろしくお願ひいたします。

### ・学生募集(平成31年度)

30年度新入生は116名です。母校のために、なお一層のご協力ををお願いします。



### 創立80周年記念事業のご報告

- 創立80周年記念第17回保育研修会とお祝いの会  
平成29年7月30日開催
  - 第1部：講演「心に響くことば」講師：徳田章氏  
元エグゼクティブアナウンサー・玉川大学客員教授  
「心に響くことば」について聞くことができました。
  - 第2部：「80周年お祝いの会」の横断幕に紅白のリボン、金銀の折り鶴、会食準備・会場設定など多くの方々のアイディアなどで華やかに飾られた会場で河野副所長の「乾杯」の音頭で開幕。齊藤所長の「かくし芸」や「思い出に残る学生生活」「親子」で参加した方の「手遊び」などで楽しい時間を過ごしました。会員の中には福島から駆けつけ60年ぶりの感激の再会もありました。校歌を合唱し、柳戸事務長の「万歳三唱」で閉幕しました。
  - 第3部：講演と実技「音楽で豊かに」講師：酒井紀子  
氏東京芸術大学声楽科ソプラノ専攻卒業・現二期会会員・日本演奏連盟会員 快い歌声が会場一杯に響き渡りました。また、ピアノ演奏や可愛らしい歌い手さんの素敵な歌声が流れ、列席者一同も一緒に歌うなど本日の最後を締めくくるにふさわしい講演と実技でした。
- 式典及び祝賀会平成29年10月1日母校校舎で挙行  
母校130周年と併せて厳かな中にも喜びに満ち溢れた式典・祝賀会となりました。
- 記念誌発行：母校と合本で平成29年10月1日発行しました。母校と併せて50頁同窓会10頁でしたが同窓会の伝統と歴史を知っていただく良い機会となりました。
- 会報「ささぶね」32号80周年記念号として、カラーアルバムとして平成30年6月に発行しました。

# 祝 竹早教員保育士養成所同窓会創立80周年 竹早教員保育士養成所創立130周年

平成29年10月1日 於：本校

## 式典



## 祝賀会 平成29年10月1日



開会のことば  
下平喜代子同窓会長



挨拶 吉野尚也理事長



挨拶 齊藤光一所長



司会・進行



乾杯



今日の喜びを乾杯に託して……



お祝いの出し物は「語り」と「歌」で綴る「思い出のアルバム」



思い出のアルバム



つつじヶ丘幼稚園の先生方楽器の演奏



先生方・職員の方々見事な歌をご披露



みんなで一緒に故郷を合唱



閉会のことば  
大野智子後援会長



記念写真 同窓会員

創立80周年記念 第17回保育研修会及びお祝いの会開催於本校 平成29年7月30日

## 第1部 講演会「心に響くことば」



挨拶 下平喜代子会長



挨拶 齊藤光一所長



80周年記念研修会の  
ために、齊藤所長先生  
はじめ先生方がご尽力  
くださいました。

ありがとうございました



徳田章氏（元エグゼクティブアナウンサー・玉川大学客員教授）をお招きして  
「心に響くことば」についてうかがいました



講師：徳田 章 氏



遠方からお出での中高生が  
代表で花束贈呈



午前の「講演会」は1年生も  
参加しました

## 第2部 お祝いの会：食事を共にしながら80周年を祝う



乾杯



みんなニコニコ 笑顔に勝るものなし



## 余興の始まり.....



校歌齊唱

## 第3部 講演と実技「音楽で豊かに」

講師：酒井紀子氏 東京芸術大学声楽家ソプラノ専攻卒業・現二期会会員・日本演奏連盟会員



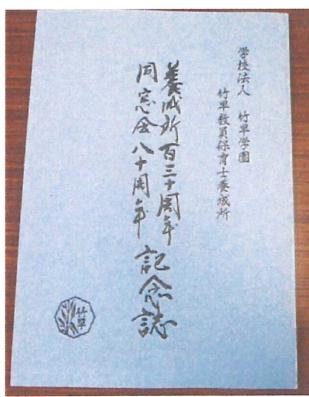
ピアニストと可愛い歌手と歌声とピアノ演奏そして歌のご指導 広い会場には笑顔と歓声があふれていました  
暑い中でしたが心豊かな1日を過ごしました



ハイ 声を揃えて

花束贈呈

お礼のことば



記念誌

同窓会八十周年の歩み  
～記念誌は母校と合本で発行されました～  
凝縮されたこの中に歴史。  
伝統・未来への願いを込めました。